

第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート【自立支援、介護予防又は重度化防止】

市町村名: _____

項目	現状と課題	取組	目標	取組状況と実績	自己評価	次年度対応策		
記入要領	<p>◆自立支援、介護予防又は重度化防止</p> <p>◎項目名を記入してください。</p> <p>(例) ・認知症施策 ・地域ケア会議 等</p> <p>※内容に応じて自由に設定してください。</p>	<p>◎目標を設定するに至った現状と課題(「取組と目標」を設定した背景)を記入してください。</p>	<p>◎第8期における具体的な取組</p> <p>・「現状と課題」に記入した課題等を解決するため、第8期計画に記載した取組を記入してください。</p>	<p>◎「取組」に対し、計画に記載した目標を記入してください。</p>	<p>◎令和4年度の取組状況と、「目標」に対する令和4年度の実績を記入してください。</p>	<p>◎目標に対する実績、及び「理想値」に近いのかどうかという観点から自己評価を行い、その結果をプルダウンで選択してください。</p> <p>「◎」達成できた 「○」概ね達成できた 「△」達成はやや不十分 「×」全く達成できなかった</p> <p>から選択</p>	<p>◎左記自己評価について、どのような理由からそのような評価を行ったのか、記入してください。</p> <p>・目標の達成状況に関する調査及び分析内容(達成できた背景、達成できなかった要因・課題等)について記入すること。</p>	<p>◎左記自己評価を受けて、今後の対応策等を記入してください。</p>
	<p>高齢者の身近な通いの場への社会参加や、積極的な社会参加活動の推進。</p>	<p>65歳以上人口及び75歳以上人口は概ね減少傾向にあるが、それを上回る率で、生産年齢人口が減少しているため、高齢化が進行し、地域の担い手は減少している。介護事業所を含めた産業全体の継続が難しくなっている。</p>	<p>高齢者の身近な通いの場への参加や、積極的な社会参加活動を推進し、地域の担い手として活躍できるしくみを拡充していく。</p> <p>さらに高齢者の生きがいや介護予防、健康づくりを推進し「閉じこもり」や「転倒」予防に取り組み健康長寿につなげる。</p> <p>また、介護予防・日常生活支援総合事業の見直しや拡充、給付の適正化を図り重度化を防止する取り組みを強化していく。</p>	<p>住民主体の介護予防拠点数</p> <p>2020: 160箇所 2021: 160箇所 2022: 160箇所 2023: 160箇所</p> <p>週1回の体操を実施する拠点数</p> <p>2020: 15箇所 2021: 20箇所 2022: 25箇所 2023: 30箇所</p>	<p>住民主体の介護予防拠点数</p> <p>2020: 131箇所 2021: 118箇所 2022: 114箇所 2023: 箇所</p> <p>週1回の体操を実施する拠点数</p> <p>2020: 14箇所 2021: 17箇所 2022: 19箇所 2023: 箇所</p>	<p>△</p>	<p>・住民主体の介護予防拠点数については、自治会等地域の高齢化により維持が困難な通いの場が開始しているため、箇所数が減少している状況である。継続した取組ができる支援体制が必要となっている。</p> <p>・週1回の体操を実施する拠点数は徐々に増加している。周知活動等により取組内容等の住民への浸透を今後も図る。</p>	<p>・地区住民が集う場に積極的に出向き、介護予防活動の普及啓発活動に引き続き取り組んでいく。特に、「健康長寿週一活動」の効果的な普及啓発を行い、新規立ち上げ支援と既存の団体等に対しては、活動ができるような支援を行う。</p> <p>・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業(ポピュレーションアプローチ・フレイル予防の普及啓発、運動・口腔等の健康教育・健康相談)とも連動した取り組みの推進を図る。</p>
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
	6							
	7							
	8							
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							
	17							
	18							
	19							
20								